

現代の家族と子育てを考えるワークショップ（第4回）

戦後日本では、家族構造が三世代を中心とした多世代家族から二世世代を中心とした核家族へと大きく変化しました。同時に住環境も「障子やふすま」を使った開放性の高い構造から「ドアと壁」を使った閉鎖性の高い構造に変化しました。今回は、これらの家族および住環境の構造変化が子どもの発達にどのような影響を与えたかについて考察し、新しい時代の家族と学校教育のあり方について一緒に考えたいと思います。また、前回に引き続きモンテッソーリ教育を基にした幼児教育についても講演・ワークを行います。講演に加えて、グループ・ワークでの体験により、実感として内容を理解できるように工夫されています。ぜひご参加ください。

テーマ「子どもの発達と環境を考える ～核家族と子ども部屋～」

講師 不登校支援ネットワークスタッフ

小幡吉広（大矢野ひまわり保育園園長） 竹下 薫（臨床心理士）

高森敦子（学校心理士） 豊永亨輔（学校心理士）

主催：不登校支援ネットワーク

対象：保護者。教育・福祉・心理など、対人援助職の方。

興味のある方。40名程度。

日時：2013年10月20日（日）13:30～16:30

場所：くまもと県民交流館パレア 会議室3（9階）

会費：500円（資料代等）

お申し込み：(1)(2)どちらかの方法でお申し込みください。（電話による受け付けはできません。）

(1) メール：下記ホームページの「申し込み専用フォーム」に入力し、送信してください。

(2) FAX：096-248-7209（豊永）

①^{ふりがな}氏名 ②性別 ③年齢 ④所属 ⑤住所 ⑥TEL/FAX ⑦メールアドレス をご記入ください。

様式は自由ですが、FAX用紙を下記ホームページからダウンロードすることもできます

*申し込み多数の場合には定員に達した段階で受付終了とさせていただきます。

お問い合わせ

メール：下記ホームページの「お問い合わせフォーム」より入力・送信してください。

不登校支援ネットワークホームページ <http://shien.shingonji.net/>

* 不登校支援ネットワークは、宗教法人真言寺の外郭団体です。不登校やひきこもりになっている青少年への援助ならびに、教育・福祉・医療などの専門職のサポート、新しい視点の回復プログラムの研究開発などの活動を行うことを通して、社会・教育・福祉に寄与・貢献することを目的としています。

